

# 文学の散歩道 入選作品 長月（九月）

## 短歌

朝顔が色とりどりの園庭に  
シャボン玉吹く子らのほほえみ  
守山市 小島 京子

人知れず山谷越えて五十年  
今又揺れる八十路の介護  
高木 都人

秋風に生きる幸せ踏みしめて  
嵯峨野散策句箋片手に  
小南 木楽蜻蛉

## 俳句

小さな手広げ弾ける鳳仙花  
近江富士 中村 城啓

いたずらに鐘打つ子もなく盆が過ぎ  
高木 都人

鈴虫や疲れた肩を揉みほぐす  
小南 木楽蜻蛉

## 川柳

見守りに秋は遠しと玉の汗  
近江富士 中村 城啓

散歩道マスクはずして深呼吸  
小南 脇坂 洋子

サロン来て昭和の秋とタンバリン  
三上 櫻木 博子

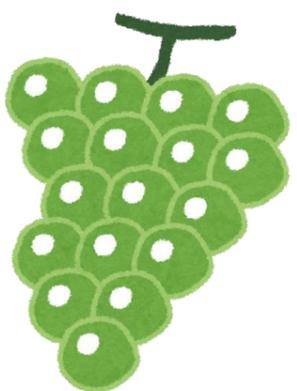
## 冠句

（歴史あり）

歴史あり 一碑の苔が秘話を抱く  
小南 木楽蜻蛉

歴史あり 遺構にロマン湧く古城  
小南 泉 歌子

歴史あり 鋤持つ父母の丸き背  
高木 都人



次回 神無月（十月）の題目

冠句【秋に入る】

お問合せ 文化スポーツ振興課

電話：〇七七（五一六）四五六八